

第94回 いきいきサロン

中井町内会いきいきサロン担当／大森 武生

日 時 平成27年3月11日(水) 午後1:00~3:00

場 所 中井公会堂

1.見守り新鮮情報／情報収集・門脇正彦

*214号 見るだけでいいから

展示会場に誘われ会場で「見るだけ」と言わされて1000万円以上買わされた。

- ・アドバイス／誰にも相談できないまま契約を重ね問題が深刻化する。

見慣れないものや不審な契約はしないように。

*215号 老人ホーム入居権を代わりに申し込んで

「名義を貸すだけ」などと頼まれても、後からさまざまな口実で金銭を要求されます。

- ・アドバイス／一度お金を払うと、取り戻すことは極めて困難です、絶対払わない事。

*216号 キャッシュカードと暗証番号をだまし取る詐欺に注意

取引のある銀行名を名乗り、「個人情報が漏れているのでキャッシュカードを交換する」と電話があり、新しいカードや書類、返信用封筒が届く。今使っているカードと暗証番号を記入して返送するようにと書いてあった。－新手の詐欺事件に注意－

- ・アドバイス／金融機関がキャッシュカードを返送させたり、暗証番号を訊く事は有りません。絶対に返送しないで下さい。

2.岡山市のごみ処理の現状／岡山市環境局環境事業課・副主査 福武伸之

「環境事業局」とは、皆さんの見えないところで「ゴミ処理」を行っている部署です。

「ゴミ処理」

- ・「可燃ゴミ」は、焼却して体積を小さくして埋める。また焼却時に出る有毒ガスを無害化する。
- ・「不燃ごみ」はできるだけ碎いて、道路埋め立てなどに利用したり、処理できないものは埋立地に埋める。
- ・「資源化ゴミ」は、それぞれリサイクルされます。段ボール、新聞紙、雑誌、雑紙は再生紙の原材料に。ペットボトルは粉碎されてプラスチックの材料に。空き缶、電池などは碎いて各金属に分けられて再利用されます。空き瓶も碎いてガラス原料となります。古布は後進国で再利用されているのです。

「ゴミ」として捨てるものはありません。大半はいろんな材料に活用されているのです。

その状況を映画で見ていただきましょう。
—この映画は、小学校4年生の社会科の資料です—

ゴミ問題で「知らない、お話」

- ・岡山市では、ごみ減量化・資源化を推進します（ごみを出さずにリサイクルを進めて行く社会を目指しています）。
- ・ごみ袋が有料化なりました。不良品があれば外袋に入れて役所に持参すれば新品10枚と交換します。
- ・生ごみ減量化するため「生ごみを良く絞って」出す。
- ・資源化ゴミで毛布、ダウンジャケット、毛糸もの、皮のカバンも出せます。
- ・スーパー等でレジ袋を使わない、受け取らない。
- ・使い捨て商品や過剰包装は避ける。
- ・生ごみは減らしてきちんと水切りをする／2割多く袋に入る。
- ・マイバック、マイボトル、マイカップ、マイ箸を使う／減量化できめん。
- ・ビール瓶等はお店に返却する
- ・地域の資源集団回収(子供会回収など)に参加する。

—資源とエネルギーの無駄使いをやめ、みんなで地球環境を守りましょう—

3.健康体操／「岡山市民体操」、「ふれあい健康体操」などなど・・・

- ・なかなか覚えられないが、身体を動かすことが良いと思います。
- ・ストレッチ体操で、認知症予防

4.歌声喫茶・なかい／声を出すことはストレス発散

5.お楽しみ抽選会／講師の方も入れてお楽しみ抽選会

6.出席者

大森武生、勝、茂子、裕子、光子、貞子、松田千津子、山中国之、門脇正彦、中西啓次、
西山由紀、山崎清子、実盛泰子、梶田恵美子、岩坪正幸、郁子、田中節子、青井幸子、
大森満寿子、岡山市事業局／福武伸之、松山博、 21名